
07年度第1四半期 決算説明資料

2007年8月14日



アセット・インベスターズ株式会社

目次

経営成績・財務状況の概況	3
1. 07年第1四半期決算の概況	4
2. セグメント別の概況	5
3. 貸借対照表の概況	6
4. ポートフォリオの概況	7
5. 株主還元策	8
6. 財務・株式指標	9
7. 2007年度通期の見通し	10
今年度の取り組み	11
1. 今年度の取り組み方針	12
2. プリンシパル投資事業(海外企業投資)	13
3. 国内ファンド事業	14
4. メザニン・ファイナンス事業(企業投資)	15
5. メザニン・ファイナンス事業(不動産投資)	16
新中期経営計画 進捗報告“Value Integration by Merchant Banking AI Way”	17
1. 新中期経営計画 “Value Integration by Merchant Banking AI Way”の進捗状況	18
2. アセットクラス・投資対象・投資手法の多様化	19
3. ファンド事業の拡充	20
4. 中期収支計画	21
投資案件の概況	22
1. 国内主要投資実績	23
2. フィナンシャル・ストラクチャリング&オペレーショナル・バリューアップの実践	24
3. 海外主要投資実績	25
4. 投資案件の概況	26
会社概要	27

経営成績・財務状態の概況

1. 07年度第1四半期の概況～前年と比べ減収減益となるも、今年度業績見通しは変更せず。

(単位 百万円)

	06年度 第1 四半期	07年度第1四半期			前年 同期 増減	
		AI単体	投資事 業組合 ほか	H&W 事業		
売上高	1,993	1,341	605	73	758	▲ 652
売上総利益	1,164	682	455	▲ 318	573	▲ 482
営業利益	510	▲ 171	194	▲ 339	▲ 18	▲ 681
営業外損益	▲ 34	▲ 22	▲ 38	15	▲ 10	12
経常利益	476	▲ 193	156	▲ 324	▲ 28	▲ 669
当期純利益	278	0	105	▲ 94	▲ 19	▲ 278

*07年度第1四半期合計は、内部取引等調整後の金額です。

07/9期 見通し	前年同期比の増減
5,000	【概要】 ・当第1四半期(連結)はマーチャント・バンキング部門での投資回収の遅れを主に、売上高1,341百万円(前期比▲652百万円)、経常損失193百万円(前年同期比▲669百万円)、当期純利益0百万円(前年同期比▲278百万円)と減収減益となりました。
1,800	・当社グループの主要業務である投資・金融事業は、その業務の特性上、金融市場の変動や個別取引の成約状況による影響が極めて大きいものであり、当第1四半期においては、計画対比で業績変動を余儀なくされた結果となりました。 ・今年度の中間期及び通期の業績予想に関しては、平成19年5月15日発表のものから変更はございません。
1,600	【連結対象会社概要】 ・マーチャント・バンキング事業を主要業務とする当社単体決算は投資回収の期ずれの影響がありつつも黒字を計上しております。 ・一方、上場株式を運用する連結対象の投資事業組合(エーアイ・バリュー・パートナーズ)にて、保守的に減損処理を行っており、今回の連結決算に影響を与えております。 ・H&W事業は計画通りの推移となっております。
1,100	

2. セグメント別の概況～国内企業投資の回収のずれ込みと減損が減益の主要因

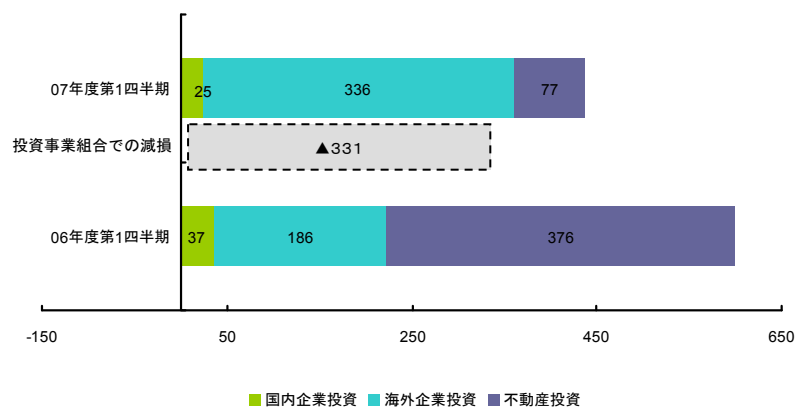
マーチャント・バンキング部門(MB部門)

- 当第1四半期では、MB部門の売上総利益は107百万円(前年同期比▲435百万円)となり、内訳は、企業投資30百万円(同▲138百万円)、不動産投資77百万円(同▲299百万円)。
- 企業投資では、国内部門▲306百万円、海外部門336百万円となり、国内部門の赤字計上は、連結対象である投資事業組合での減損(▲331百万円)が主要因。一方、海外部門では、計画通りに業績は推移。
- 不動産投資は、今期はエクイティ投資の回収はなく、賃貸収入を中心に計上。

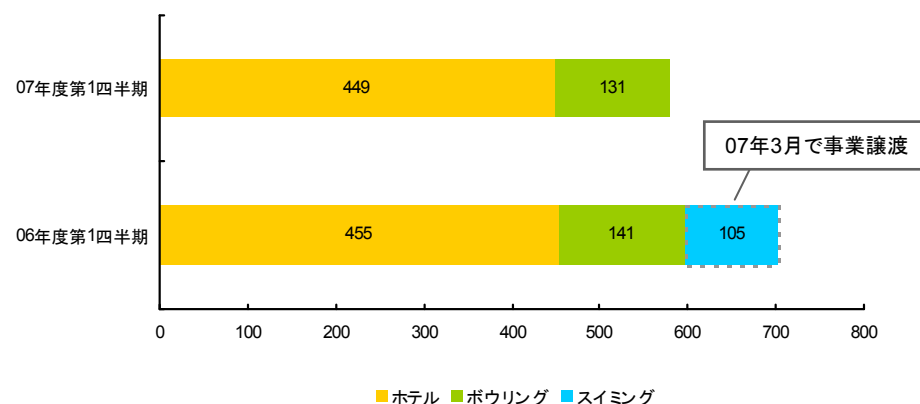
ホスピタリティ&ウェルネス部門(H&W部門)

- 平成19年3月末にスイミング事業を売却したことにより、当第1四半期よりホテル及びボウリング事業の2事業の構成。
- 売上総利益の内訳はホテル部門449百万円(前年同期比▲6百万円)、ボウリング部門131百万円(同▲10百万円)とほぼ前年並み。

MB部門の売上総利益の推移



H&W部門の売上総利益の推移



3. 貸借対照表の概況～07年3月末から大きな変動はなし

(百万円)

	07年3月末	07年度第1四半期		前期末 増減	増減理由
			構成比		
流動資産	24,692	25,547	83%	855	
現預金	3,357	4,188	14%	831	投資回収及び投資待機資金の調達
企業投資	13,263	13,273	43%	10	海外部門を中心に回収が進展
不動産投資(有価証券)	5,386	5,831	19%	445	メザニンを中心に投資が進展
棚卸資産(不動産)	1,304	1,299	4%	-5	
固定資産	5,230	5,245	17%	15	
有形固定資産	3,919	3,955	13%	36	
無形固定資産	7	8	0%	1	
関連会社株式	802	802	3%	-	
投資その他の資産	500	480	2%	-20	
資産合計	29,922	30,793	100%	871	

	07年3月末	07年度第1四半期		前期末 増減	増減理由
			構成比		
流動負債	10,106	11,155	36%	1,049	
短期借入金	7,994	9,870	32%	1,876	投資及び運転資金の借入
1年以内返済予定長期借入金	485	450	1%	-35	
固定負債	6,266	6,393	21%	127	
新株予約権付社債	4,025	4,025	13%	-	
長期借入金	1,161	1,442	5%	281	投資及び運転資金の借入
資本	13,551	13,245	43%	-306	
資本金	3,719	3,719	12%	-	
資本剰余金	2,916	2,916	9%	-	
利益剰余金	5,315	4,987	16%	-328	期末配当による減少
少数株主持分	1,652	1,494	5%	-158	
その他	-51	-20	0%	31	
負債・資本合計	29,922	30,793	100%	871	

4. ポートフォリオの概況～投資ポートフォリオは引き続き量・質を維持

(百万円)

	07年3月末投資残高		07年6月末投資残高	
		構成比		構成比
【プリンシパル投資】				
企業投資 計	13,263	66%	13,273	65%
国内	6,001	30%	5,672	28%
海外	7,262	36%	7,601	37%
不動産投資 計	6,690	34%	7,130	35%
不動産投資	5,386	27%	5,831	29%
棚卸資産	1,304	7%	1,299	6%
プリンシパル投資残高合計	19,953	100%	20,403	100%

【ファンド管理残高】

国内再生	3,000	27%	17,600	56%
国内上場企業	8,100	73%	8,100	26%
海外	-	-	5,500	18%
ファンド管理残高合計	11,100	100%	31,200	100%

【当期に変動が見られた銘柄】

(百万円)

社名	初期投資年月	市場/コード	07年6月末 投資残高	07年3月末 市場終値	07年6月末 市場終値	増減率
【海外上場銘柄】						
Power Quotioen International Co., Ltd.	2005年6月	台湾証券取引所 (6145)	US\$3.76	NTD 28.00	NTD 33.40	+19%
China Best Group Holding Limited	2004年12月	香港証券取引所 (0370)	US\$5.00	HKD 0.12	HKD 0.15	+27%
Hong Kong Construction	2007年3月	香港証券取引所 (0190)	US\$5.18	HKD 1.37	HKD 2.18	+59%

5. 株主還元策～特別記念配当を実施

- 創業60周年を記念して特別配当を実施
 - 昨年度末で旧新日本紡績の創業から60周年
 - 9月末の株主に対し、1円の記念配当を実施
 - 年間配当は5.5円になる予定
 - 配当性向は20%以上の目標を維持

	1株当たり中間配当金	1株当たり期末配当金	1株当たり年間配当金	予想配当性向
前回予想 (平成19年5月15日)	50銭	4円	4円50銭	18%
今回修正予想	1円50銭 (特別配当1円)	4円	5円50銭	22%
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	50銭	4円	4円50銭	21%

6. 財務・株式指標～財務体質の健全性を維持。株式指標ではPBR1倍近くまで株価低迷。

【財務指標】

項 目		07年3月末	07年6月末
株主資本比率		40%	38%
ROE	株主資本経常利益率	18%	—%
	株主資本純利益率	16%	—%
収益性指標	売上高総利益率	50%	51%
	売上高営業利益率	20%	—%
	売上高経常利益率	20%	—%
	売上高当期純利益率	17%	—%

【株式指標分析】

項 目	07年3月末	07年8月10日現在
発行済株式総数（千株）	82,291	82,291
1株当純利益(EPS)(円)	21.76	25.5(予)
1株当純資産(BPS)(円)	144.4	140.63
株価(円)	210	148
時価総額(百万円)	17,281	12,179
PER(倍)	9.7	5.8
PBR(倍)	1.5	1.2

7. 2007年度通期の見通し

- 当第1四半期においては、計画対比で業績変動を余儀なくされた結果となったが、引き続き半期・通期の業績見通しは維持。

	07/3期	08/3期見込	前期比
売上高	10,522	10,000	-5%
売上総利益	5,295	6,940	31%
MBG	2,769	4,420	60%
H&W	2,519	2,520	0%
営業利益	2,121	3,500	65%
経常利益	2,048	3,100	51%
当期純利益	1,787	2,100	18%
EPS	21.76	25.52	17%

*08/3期計画のEPSは現時点での発行済株式総数で算出

今年度の取組み

1. 今年度の取組み～順調にマーチャント・バンキング事業の拡充が進展

■ プリンシパル投資事業

国内 事業再生案件等のEXITに向けた取組みを推進。

海外 中国大陸の主要都市を中心とした海外不動産投資の取組み進展。

CITICグループと連携し、CIAMを通じた大型投資案件への取組みを推進。

■ ファンド事業

国内 伊藤忠商事株式会社との投資銀行業務における連携強化を検討。

グループの国内M&A案件のファンドGP業務が移管され、当社ファンド管理残高は257億円まで増加。

海外 当社がGPを務めるAsset Managers (China) Fund IIにて2銘柄への投資を開始。

■ メザニン・プロジェクトファイナンス事業

国内 企業・不動産へのメザニン・ファイナンス事業に取り組みMBG事業の拡充を図る。

既に上場企業への買収ファイナンス及び不動産メザニンを実行

海外 チャイナ・データバンクと共同で中国の大型プロジェクト・ファイナンス案件の組成も検討。

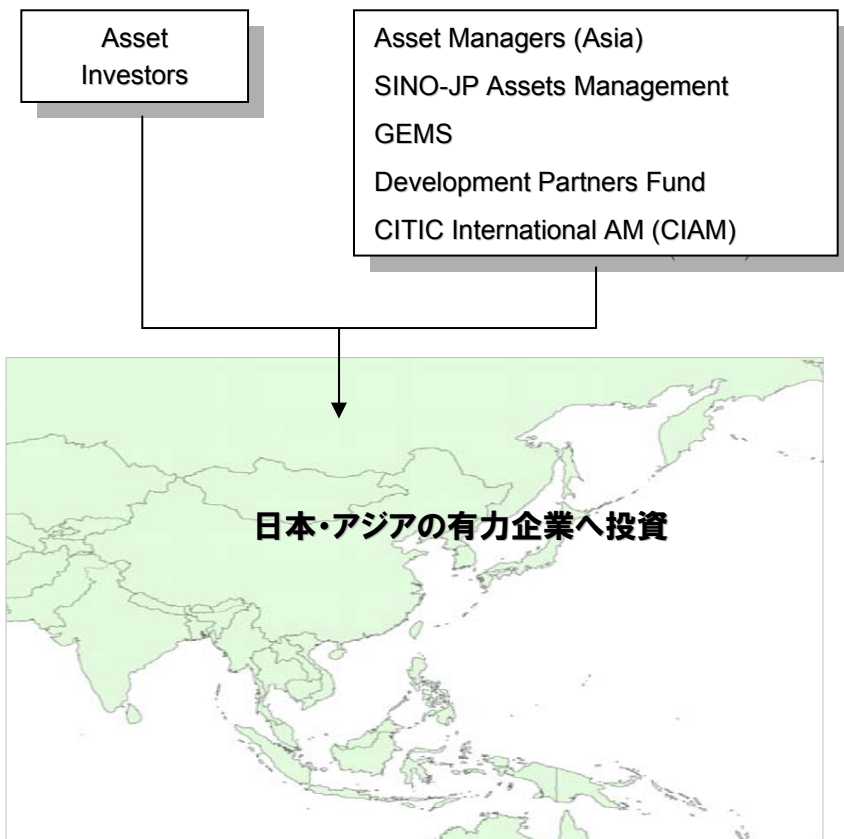
■ アドバイザリー事業他

当社及び合併会社フィナンシア・CIでアドバイザリー事業が具体的に始動

日本発のグローバル・マーチャントバンクを目指す

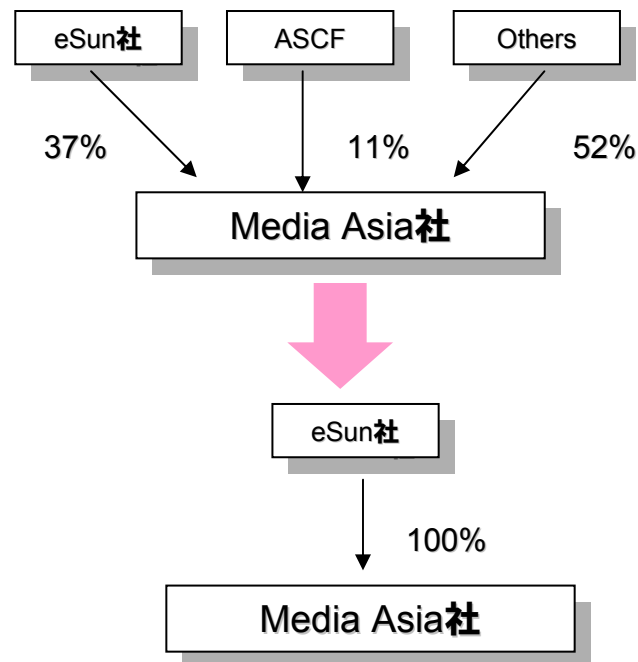
2. プリンシパル投資事業(海外企業投資)~有力パートナーとの共同投資・戦略的EXITの事例

海外有力パートナーとの 共同投資を積極的に展開



Media Asia 社の非公開化

■ASCFを通じて保有しているMedia Asia社(シンガポール上場)に対して、筆頭株主であるeSun社(香港上場)が公開買付けによる非公開化が行われ、それによりExitが実現。



3. 国内ファンド事業～順調なファンド管理残高の積み上がり状況

■現在、今上期を目処に大型旗艦ファンドを国内有力パートナーと組成中。

■今年度のファンド管理残高目標（330億円）は、ほぼ達成。上記ファンドを含め早期の500億円越達成を目指す

区 分				(億円)
	07年 3月末	07年 6月末	主な銘柄と取り組み状況	07年度 計画
国内再生	30	176		30
国内上場	81	81		70
国内バイアウト	—	—		175
海 外	—	55	ASCF II。組成後3ヶ月で第1号案件をクローズ。8月に第2号案件のクローズを予定。	55
合 計	111	312		330

4. メザニン・ファイナンス事業（企業投資）

～エクイティ型とデット型メザニンの双方の案件を実行

新株予約権の引受

契約締結日：平成19年5月30日

契約締結先：

株式会社ワイステーブルコーポレーション

新株予約権の数：1,000個

（新株予約権1個につき普通株式1株）

新株予約権の払込価格：

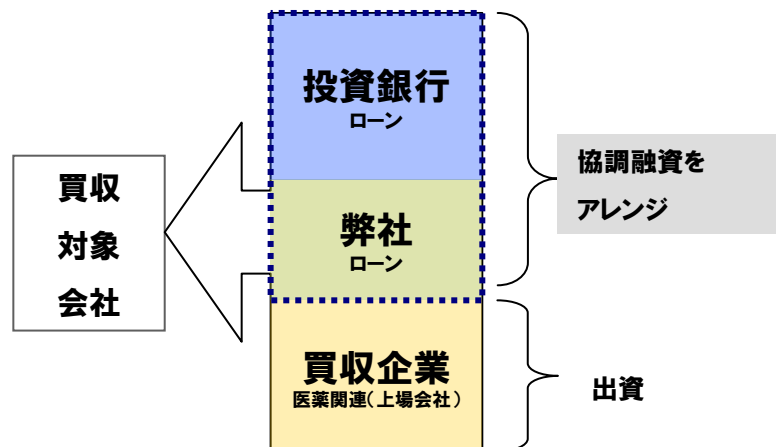
5月11日現在の価格で1株当り5,458円



買収ファイナンス(アレンジャー)

事業拡充を目的としたM&Aに係る買収ファイナンスを組成。

医薬関連(上場会社)の例



5. メザニン・ファイナンス事業（不動産投資）～当第1四半期で2案件を実行

契約・決済日	: 平成19年5月29日（予定）
投資対象物件	: クラスター六甲
所在地	: 兵庫県神戸市灘区桜口町2丁目1-18
交通	: 東海道本線「六甲道」駅 徒歩4分
土地面積	: 1,483.03㎡（448.62坪） ※区分所有
敷地権割合	: 611,888の468,843（約76.62%）
建蔽/容積率	: 80%/400%
用途規制	: 近隣商業地域、防火地域
構造・規模	: 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート造陸屋根B1付9F
延床面積	: 4,585.91㎡（1,387.24坪） ※2F～9F住居部分全て
用途	: 共同住宅
竣工年月	: 1990年（平成2年）
取得価格	: 1,220,000,000円
総取得費	: 1,348,000,000円（消費税込）
現況NOI	: 5.96%（レバ前、総取得費ベース）



契約・決済日	: 平成19年4月25日（予定）
投資対象物件	: コンフォートタイム大森
所在地	: 大田区大森北3丁目43番10外
交通	: 京浜急行線「大森海岸」駅 徒歩6分
土地面積	: 381.80㎡（115.49坪）
建蔽/容積率	: 88.6%/424.01%
用途規制	: 商業地域
構造・規模	: 鉄筋コンクリート造陸屋根11階建
延床面積	: 1,712.44㎡（518.01坪）
用途	: 共同住宅
竣工年月	: 2005年（平成17年）
取得価格	: 1,150,000,000円
総取得費	: 1,270,000,000円（消費税込）
現況NOI	: 5.34%（レバ前、総取得費ベース）





新中期経営計画 進捗報告
“Value Integration by Merchant Banking AI Way”

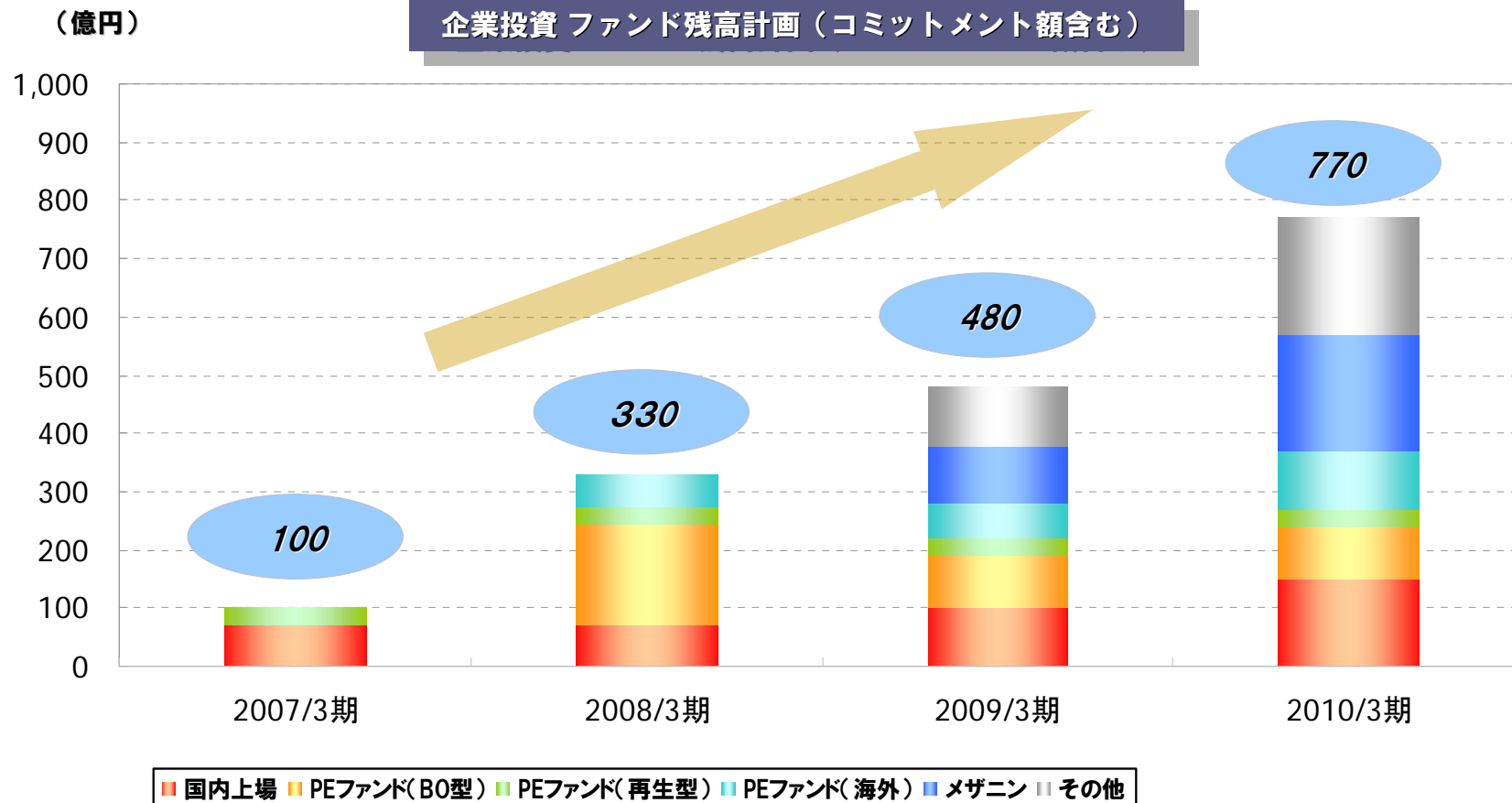
1. 新中期経営計画 “Value Integration by Merchant Banking AI Way”の進捗状況

				(億円)	
		06年度実績	10年度計画	07年度第1四半期の取組み	07年度計画
売上総利益		28	75		44
プリンシパル投資事業	企業	12	30	<ul style="list-style-type: none"> ■国内外とも既投資案件のExit促進 ■伊藤忠グループと協働し業務推進 ■海外有力ファンドとの共同投資 ■不動産部門は介護・社宅関連施設への投資に注力 	26
	不動産	14	15		10
ファンド事業	国内	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ■今上期を目処に旗艦ファンド設立を準備 ■海外ファンドASCF IIにおいて2案件の投資開始 	3
	海外	0	7		1
メザニン投資事業	企業	0	5	<ul style="list-style-type: none"> ■大手米系投資銀行と協調ファイナンスを実行 ■不動産部門で2案件のメザニンファイナンスを実行 	2
	不動産	0	5		1
アドバイザー事業		0	5	<ul style="list-style-type: none"> ■買収ファイナンス案件を組成 ■M&A案件のFA就任 	1

2. アセットクラス・投資対象・投資手法の多様化

	企業株式(上場・未上場・再生)	不動産
プリンシパル投資事業	国内	
	海外	
ファンド事業	国内	アスラポート・ダイニング、多田建設 ワイズテーブル・コーポレーション他
	海外	海外ファンド組成及びGP就任 ~Asset Managers (China) Fund II
メザニン・ファイナンス事業	国内	メザニンファイナンス事業を本格始動
	海外	海外有力ファンドへの出資 Development Value Partners
アドバイザー事業	事業承継型M&A (自動車部品メーカー、住宅メーカー、温浴施設)	投資分野・手法の拡大

3. ファンド事業の拡充を目指す

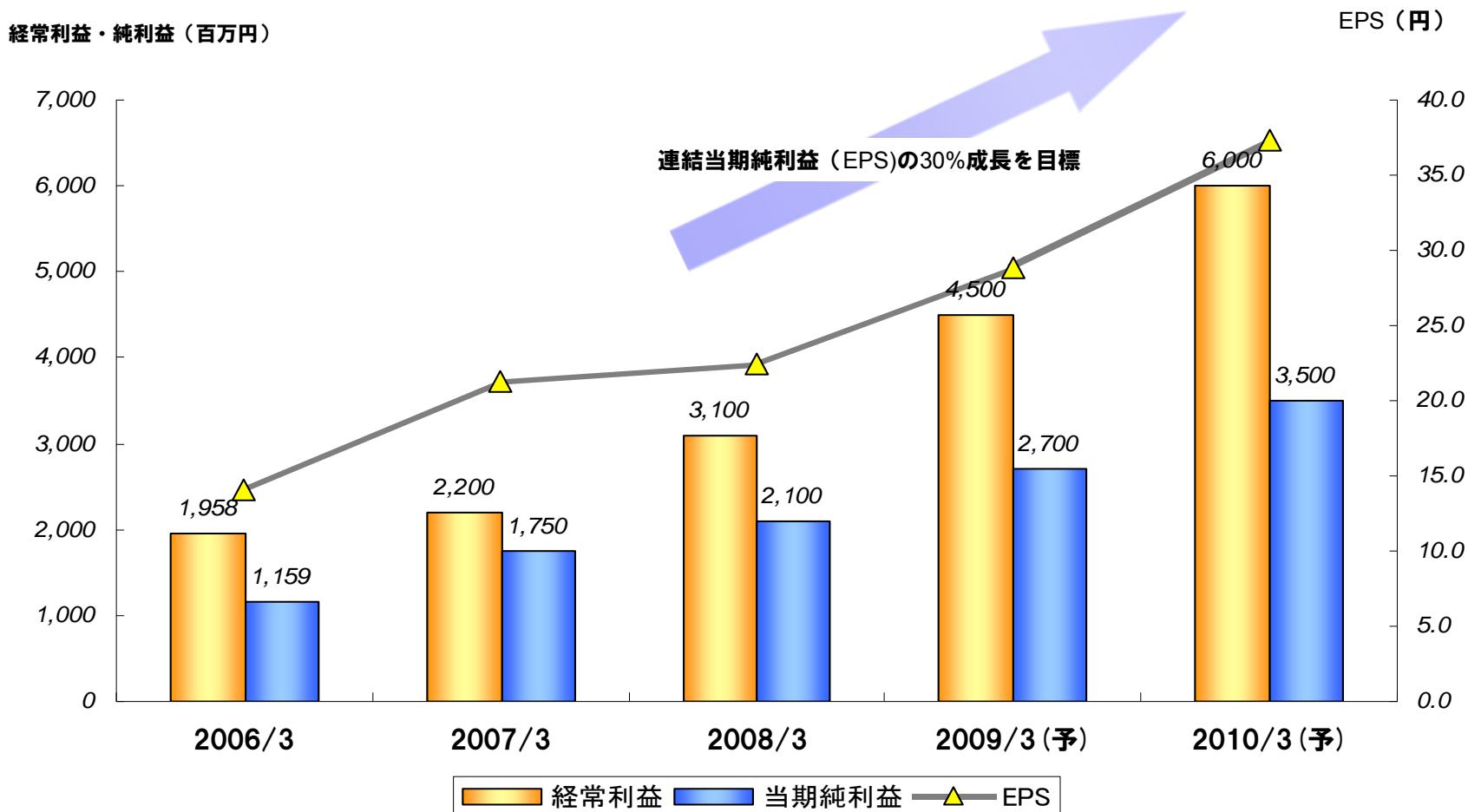


✓国内企業投資（事業再生案件含む）は、バリューアップの上、EXITを促進。既存投資案件の大半は、08/3期と09/3期の2年間でEXITを見込み、パフォーマンス実績を基にファンド・レイズを強化。

✓現在、国内有力パートナーと大型のP/Eファンドを企図。

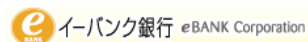
4. 中期収支計画

- 当期純利益ベースで30%成長を経営目標とする。
- 将来の高成長ステージを目指し、営業基盤の強化に努める。



参考資料－投資案件の状況

1. 国内主要投資実績



イーバンク銀行
投資銀行業務を通じて同社のIPO支援



多田建設
不動産ファンド事業と連携し事業拡大、早期IPOを支援



ワイズテーブル
飲食店舗ブランドと不動産開発事業のシナジー追求



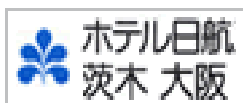
極楽湯
スーパー銭湯「極楽湯」の運営・フランチャイズ事業展開を支援



キムラヤ
インポートブランドショップへ転換。客層に合わせ新業態開発



アスラポート・ダイニング
旧プライム・リンク。2007年に持株会社へ移行



ホテル日航茨木大阪
旧京都ホテルをJALブランドに転換し再生支援



ホテルJALシティ松山
事業承継型M&Aにより取得



アセット・マネージャーズよりバリュエーションアップの業務を受託。

2. フィナンシャル・ストラクチャリング & オペレーショナル・バリューアップの実践

案件種類	スポンサー先	フィナンシャル・ストラクチャリング	オペレーショナル・バリューアップ
新規業態支援	ワイステープル コーポレーション	ファンドを組成し株式及び新株予約権に投資	当社の不動産ファンド事業及びM&A事業の機能・ノウハウを提供し、店舗展開のみならず、海外や飲食周辺ビジネスへの展開を通じて同社の企業価値向上を支援。
上場支援	イーバンク銀行	ファンドを組成し株式投資	当社グループの投資銀行業務とのシナジーを図り、同社の企業価値向上及び上場支援を図る。
事業承継	極楽湯	ファンドを組成し株式投資	スーパー銭湯「極楽湯」の運営・フランチャイズ事業展開を支援。
再生（未上場）	多田建設	LBOファイナンスも活用しファンド組成。 （同負債については自社株買いにより返済。）	スポンサーとなり半年（06年6月）で更生手続きを終結。 不動産ファンド事業と連携し業績拡大を目指す。
再生（上場）	アスラポート・ ダイニング	ファンドを組成し株式及び新株予約権に投資	米系投資銀行と共同で企業価値向上を目指す。抜本的な 経営改善により黒字体質へ転換。今後、M&Aを通じて事業 拡充を図る。
H&W（私的整理）	ホテル日航茨木 大阪	資産流動化により投資資金の速やかな回収を実現	「京都ホテル」から「JAL」へブランド転換し、郊外型のシティ ホテルを3年かけて再生。婚礼などのソフト面の強化が奏功。
H&W（事業承継）	ホテルJALシティ 松山	資産流動化により投資資金の速やかな回収を実現	旧オーナーからの事業承継。従業員も含めスムーズに承継 完了。ホテル日航茨木大阪での再生ノウハウを生かし、 業績拡大を目指す。

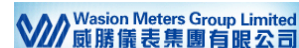
3. 海外主要投資実績



eSun Holdings
海外不動産開発で連携し同
社企業価値向上を支援。



China Medical
Technologies
癌治療機器メーカー。2005
年8月に米Nasdaq上場



Wasion Meters Group Limited
電力メーターの開発・製
造・販売。2005年12月に香
港証券取引所上場。



Power Quotient Inter'l
台湾のPC周辺・メモリを製
造している上場企業。



Golden Harvest Entertainment
(Holdings) Limited
香港の映画制作を手がける
上場企業。



AsiaMuse Entertainment
亞神音樂娛樂
Media China Group Limited
TV・音楽・デジタルエン
ターテインメントに特化した
メディア企業。



CN Innovations
Holdings Limited
金属コーティング加工メー
カー。時計および携帯電話
機向けに注力。



China Stem Cells
Holdings Limited
中国において臍帯血バンク
事業および細胞療法事業を
行う。



Horizon Fuel Cell
Technologies Pte. Ltd.
水素燃料電池メーカー。小
型携帯用、軽量輸送へ応用。

4. 投資案件概況

■Pre-IPO投資先企業の新規上場やPIPE投資先企業の企業価値向上で大幅な含み益とキャピタルゲインを実現。

上場企業等の主要な案件	初期投資年月	業種	タイプ	市場	投資額 07年6月末	投資実績等
1.Power Quotient International Co., Ltd	2005年6月	PC周辺機器及びメモリ等製造販売	PIPE	台湾証券取引所 (6145 TT)	US\$3.7百万	
2. China Best Group Holding Limited (旧社名：E-LIFE)	2005年2月	中国における石炭産業の再編・投資	PIPE	香港証券取引所 (0370)	US\$5百万	
3. Golden Harvest Entertainment (Holdings) Limited	2005年1月	映画会社	PIPE	香港証券取引所 (1132)	US\$1百万	
4.Hong Kong Construction	2007年3月	建設会社	PIPE	香港証券取引所 (0190)	HK\$40百万	
5.Carico Holdings Limited	2005年6月	自動車メーカーへの投資会社	PIPE	MBO 香港証券取引所 (0729)	—	一部売却済み IRR 83%
6.Wasion Meters Group Limited	2005年3月	電力メーターの製造販売	Pre-IPO	2005年12月 新規公開 香港証券取引所 (3393)	—	売却済 IRR 80%
7.eSun Holdings Limited	2005年4月	不動産（マカオ）開発、メディアエンターテインメント	PIPE	香港証券取引所 (0571)	—	売却済 IRR 192%
8. China Medical Technologies Inc.	2005年2月	がん治療機器の製造販売	Pre-IPO	2005年8月 新規公開 米国NASDAQ市場 (CMED)	—	売却済 IRR 91%

未公開企業等の主要な案件	初期投資年月	業種	タイプ	状況	投資額 07年6月末
1. China Stem Cells Holdings Limited	2005年1月	臍帯血バンク事業	Pre-IPO	上場準備中	HK\$23百万
2. Media China Group Limited	2006年1月	音楽配信	Pre-IPO	上場準備中	US\$2.4百万
3. Horizon Fuel Technologies Pte .Ltd	2006年3月	燃料電池の製造販売	Pre-IPO	上場準備中	US\$0.3百万
4. Project Phone mail (社名非公開)	2006年9月	携帯メール	Pre-IPO	上場準備中	US\$2百万
5. Project Auto (社名非公開)	2007年1月	自動車ローン会社	Pre-IPO	上場準備中	HK\$62百万
6. CN Innovations Holdings Limited	2007年3月	家電製品向け特殊部品・素材のR&D、製造	Pre-IPO	上場準備中	US\$4.7百万

会社概要

商号	アセット・インベスターズ株式会社
本社所在地	〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー18F
名古屋支店	名古屋市千種区星が丘元町15番14号 星ヶ丘パークビル3F
資本金	3,719,288千円(平成19年3月末現在)
設立	1947年3月17日
代表者	代表取締役会長 一木 茂 代表取締役社長兼CEO 若山 健彦 代表取締役CFO 森下 将典
大株主	株式会社エフ・アール・ホールディング(50.1%) (アセット・マネジャーズ株式会社の100%出資 子会社) 伊藤忠商事株式会社(9.8%)
業務内容	1. 国内、海外の企業・不動産への投資業務 およびM&Aのアドバイス 2. 国内、海外の企業・不動産を対象とした ファンド運用業務 3. 不動産の売買、仲介、賃貸および管理業務等 4. ホテル業の運営および管理業務 5. ボウリング場、アミューズメント施設の運営 および管理業務

沿革

1947/03	福岡市において西日本紡織株式会社を設立
1949/06	福岡証券取引所に株式上場
1961/09	大阪証券取引所第2部に株式上場
1967/07	都築紡績株式会社により、経営継承
1979/04	津島毛糸紡績株式会社と合併、新日本紡績株式会 社に社名変更
1994/10	本社を熊本県菊池郡泗水町(現 菊池市)に移転
1996/06	名古屋市においてオフィスビルの賃貸業を開始
1996/09	浜松市、土岐市においてボウリング事業を開始
2002/05	国内繊維事業から撤退
2003/01	親会社がアセット・マネジャーズ株式会社に異動
2003/06	本社を愛知県名古屋市に移転
2003/07	アセット・インベスターズ株式会社に社名変更
2006/06	東京に本社移転

2007年3月を以て創業60周年を迎えました。



アセット・インベスターズ株式会社

【お問い合わせ先】

経営企画室 IR担当

TEL : 03-3502-4910 FAX : 03-3502-4915

E-mail : info@assetinvestors.co.jp

URL : <http://www.assetinvestors.co.jp/>

本資料は当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願い申し上げます。
また、本資料は2007年6月末現在の財務データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等のうち、歴史的事実でないものは、資料作成時点における当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。